



きょうりゅう みょう 恐竜のじゅ命はどれくらいだったの

かせき ほね せいちょう しら 化石から骨の成長を調べた

いまい とうぶつ は ほね しら ねん し
今生きている動物は、その歯や骨だけを調べても、およその年れいを知ることができます。
じっさいに あか ながい みほん くら
じっさいに赤ちゃんから、長生きしているものまで見本があるので、それと比べてみることで、年れいがわかるわけです。

しかし、きょうりゅう かず かせき のこ かぎ かず きょうりゅう
しかし、恐竜はわずかな数の化石しか残っていません。限られた数しかない恐竜の化石の骨では、そうはいきません。

1980年ごろ、ホーナー博士が、つぎ けんきゅう こそだ
1980年ごろ、ホーナー博士が、次のような研究をしました。子育てをしていたので
ゆうめい きょうりゅう す なか たまご あか かせき のこ
有名な恐竜のマイアサウラの巣が、中の卵や赤ちゃんといっしょに化石になって残っています。この中に、生まれたばかりの赤ちゃんの足の骨と、生まれて6か月の赤ちゃんの足の骨の化石があったので、そこから成長ぐあいを計算すると、1年後に親と同じ大きさになることがわかりました。また、2～3才で卵を産むこともわかったため、同じようなほかの動物と比べることで、この恐竜のじゅ命は、20～30才、うんと長生きしたとしても50才ぐらいということが計算できました。

おお きょうりゅう ちい きょうりゅう ながい 大きい恐竜は、小さい恐竜より長生き

とくだい きょうりゅう ねん ほね けんきゅう
特大の恐竜は、おとなになるまでに5～6年かかったようです。骨のくわしい研究によって、特大の恐竜は、からだ ちい きょうりゅう みょう ながい さい い
よって、特大の恐竜は、体の小さい恐竜よりじゅ命が長く、80才ぐらいまで生きたのではないかと考えられています。同じは ちゅうるい いま さい くら
のではないかと考えられています。同じは虫類で今いるワニやカメのじゅ命と比べて、100才ぐらいまで生きられるのではないかと考える人もいます。はっきりは、わかってはいません。（監修・今泉 忠明）

